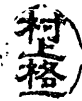


至急

大臣

副官





參事官

發行爲
十月九日

139年丁丑九月
日起案

次官



軍務局長



員





案

明治三十四年十月十九日

次官

官房第四三一〇號

海軍

0187

侍臣武蔵守

年通

長安守長久人

奉命于下拾遺大夫等
於此為門、巡
視鞅了道、武
安守長久人、
年通、武
安守長久人、
年通、武
安守長久人、
年通、武

(別冊一 部系)

正誤

一般覺書追加第十二項中鎮守府高等官ノ下濕ケ谷官舎居住ノ七字ヲ脱ス
明治四十年十月十九日

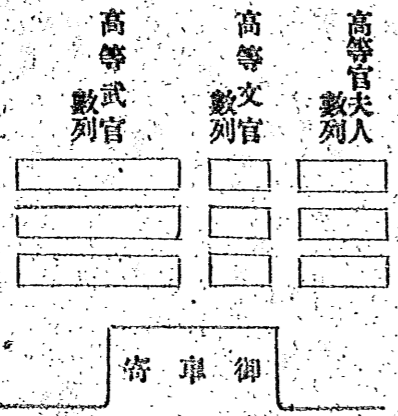
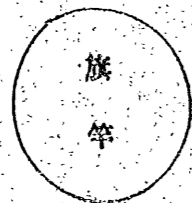
横須賀鎮守府副官 菅野勇七



0190

一般覺書追加

- 一、鎮守府庭内ニ於ケル高等官及同夫人拜謁ノトキ整列位置ハ略圖ニ示ス如シ
但シ高等官ハ各官階級毎ニ先任順序ニ一團トナリ官階順ニ序列スルモノトス
- 二、當日高等官夫人ニシテ差支ナキ向ハ可成奉迎奉送セララルヲ宜シトス
- 三、前項奉迎送セララル高等官夫人ノ位置ハ御次第書細目附圖ニ掲ケアリ野村主計中監及參謀ノ一人指導ノ任ニ充ラシメラルル筈
- 四、高等官夫人ノ拜謁ハ奉迎奉送セララルタル向キニ賜ハル儀ナリ
- 五、勅任官夫人ノ服裝ハ其ノ筋ノ御内意モアリ儀キニ夫々通知シタル如シ其他ノ高等官夫人ニアリテハ白襟紋附(帯色)ニテ差支ナシ
- 六、高等官ニ拜謁ヲ賜ハルモ當直其ノ他任務ニ差支アル向キハ此ノ限ニアラス
- 七、招待者退港ニ際シ接待掛トシテ左ノ人員ヲ出スコト
(イ) 立食場構内
砲術學校ヨリ 尉官 五人 下士 五人
(ロ) 停車場 尉官 五人 下士 五人
水雷學校ヨリ 尉官 五人 下士 五人
本項ノ接待掛ハ左腕ニ赤布ヲ纏フコト
- 八、招待者退港ノ際ハ工廠構内ヨリ豫備艦部倉庫通用門ヲ經テ停車場構内ニ導クモノトス
但シ本項ハ前項イ號ノ接待掛之ヲ擔任スルコト
- 九、招待者退港ノ際停車場ニ向ハルル方々ハ工廠構内ヨリ停車場構内ニ導ク様手配シアルコトヲ接待委員ヨリ各休館員ニ於テ報告スルコト
- 十、進水終ラハ速ヤカニ一般拜觀者ヲ構内ヨリ退場セシムルコト
但シ豫備艦部倉庫通用門ヲ通行セシメサルモノトス
- 十一、運御ノ際停車場御召汽車内ヨリ逸見海岸附近ニ於ケル潜水艇ノ浮沈運動御覽ニ付同時刻前後ニ於テ小艇ヲ運出遊覧ニシテ通過セラル様注意ヲ要ス
- 十二、元遊覧艇運出遊覧ノ工廠及鎮守府高等官、勅任官家族ノ拜觀場ニ充ツ
但シ拜觀者ニハ各本人ヨリ官氏名ヲ記シタル名刺ニ捺印シタルモノヲ交付携帶セシムルモノトシ
- 十三、官舎居住者ハ當日國旗ヲ掲グルコト
- 十四、來賓休憩所ヲ左ノ五ヶ所ニ設ク
一、水交支社 (勅任官以上各官廳委任官、外國人、部外囑托教授等)
二、下士卒集會所 (海軍高等官、東京勤務、待命、休職、豫備、後備役、貴族兩院議員)
三、准士官俱樂部 (諸會社長、銀行員其ノ他ノ紳士)
四、經理部 (新聞記者)
五、建築科 (在港高等官夫人)



一般ノ覺書追加 第二

一、御次第書細目第二十項ニ掲クル勅任官奉送ハ職務上差支アル向ハ其儀ニ及ハス

二、接待委員中若干ハ午前ヨリ午後二時ノ着車迄停車場ニ在リテ來港招待狀所有者ニ休憩所ヲ指示スル等成ルヘク便宜ヲ圖ルコト

三、接待委員ハ招待狀所有者退港ニ際シテモ亦相當ノ便宜ヲ圖ルコト

四、招待狀所有者退港ノ際乗車ノ都合アルヲ以テ水交社、准士官俱樂部、下士卒集會所ニ來着ノ招待狀所有者ノ概略員數ヲ各其ノ先任委員ヨリ委員長ニ報告スルコト

五、端舟ノ發着等ヲ監督スル爲メ當日逸見及水ヶ浦波止場ニ波止場司令(逸見ハ赤峰大尉水ヶ浦ハ鈴木大尉)ヲ置キ之ニ若干ノ傳令下士卒ヲ附ス

本項ノ役員ハ左腕ニ黃布ヲ纏フ

六、軍港西門守衛哨所側ニ治療所一ヶ所ヲ置キ赤十字旗ヲ掲ケ之ヲ表示ス其ノ人員材料ハ海兵團ヨリ出スモノトス

七、軍港東門附近ヨリ會計部ニ至ル附近ヲ工廠、鎮守府高等官及濕ヶ谷官舎居住判任官家族ノ奉迎奉送所ニ充ツ(御次第書細目附圖ニ掲ケアラサルモノ)

八、招待者接待ニ就テハ接待委員ノ設ケアリト雖海軍高等官ハ各自接待ヲ補助スルノ心得アルヲ要ス

一般覺書追加 第二

- 一、御次第書細目第二十項ニ掲クル勅任官奉送ハ職務上差支アル向ハ其儀ニ及ハス
- 二、接待委員中若干ハ午前ヨリ午後二時ノ着車迄停車場ニ在リテ來港招待狀所有者ニ休憩所ヲ指示スル等成ルヘク便宜ヲ圖ルコト
- 三、接待委員ハ招待狀所有者退港ニ際シテモ亦相當ノ便宜ヲ圖ルコト
- 四、招待狀所有者退港ノ際乗車ノ都合アルヲ以テ水交社、准士官俱樂部、下士卒集會所ト來着ノ招待狀所有者ノ概略員數ヲ各其ノ前任委員ヨリ委員長ニ報告スルコト
- 五、端舟ノ發着等ヲ監督スル爲メ當日逸見及水ヶ浦波止場ニ波止場司令(逸見ハ赤峰大尉水ヶ浦ハ鈴木大尉)ヲ置キ之ニ若干ノ傳令下士卒ヲ附ス
本項ノ役員ハ左屬ニ黃布ヲ纏フ
- 六、軍港西門守衛哨所側ニ治療所一ヶ所ヲ置キ赤十字旗ヲ掲ケ之ヲ表示ス其ノ人員材料ハ海兵團ヨリ出スモノトス
- 七、軍港東門附近ヨリ會計部ニ至ル附近ヲ工廠、鎮守府高等官及濕ヶ谷官舎居住判任官家族ノ奉迎奉送所ニ充ツ(御次第書細目附圖ニ掲ケアラサルモノ)
- 八、招待者接待ニ就テハ接待委員ノ設ケアリト雖海軍高等官ハ各自接待ヲ補助スルノ心得アルヲ要ス

一般覺書追加 第三

一、下士卒集會所内ニ治療所一ヶ所ヲ置キ赤十字旗ヲ掲ケ之ヲ表示ス
其ノ人員材料ハ工機學校ヨリ出スモノトス

二、接待委員長、參謀長、幕僚ニ傳令トシテ砲術學校ヨリ左ノ通配屬ス

接待委員長ニ 下士一人

參謀長ニ 下士二人

幕僚ニ 下士二人

本項ノ傳令員ハ右腕ニ赤布ヲ纏フ



横領第一六六八號ノ七一

明治四十年十月十九日

横須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦之丞

御次第書中訂正

昨十八日横領第一六六八號ノ六七達御次第書御發着割ノ部中左ノ一項及(同六時十五分)ノ六字ヲ削除ス

同 五時五十五分

新橋停車場御着

同 六時十五分

0195



横領第一六六八號ノ七一

明治四十年十月十九日

横須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦之丞

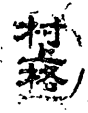
御次第書中訂正

昨十八日横領第一六六八號ノ六七達御次第書御發着割ノ部中左ノ一項及(同六時十五分)ノ六字ヲ削除ス

同 五時五十五分

新橋停車場御着

同 六時十五分



昨日及由台至之

行發在者著刻

中野橋止着車一時刻迄加と候交

之集乃及由美至也

四月平年十日

宮中書由事深

海軍中

年

梅須領候守付八刻一箇様了云々
果有司一箇知也

御發着割

十月廿一日

午前十一時卅分

御出門

正午十二時

新橋御發車 別仕立汽車

午後一時四十分

横須賀御着車

横須賀停車場より直に御馬車乘御鎮守府御着

午後三時

進水式場臨御 御馬車

式畢、鎮守府還御 御馬車

同 三時五十分

鎮守府御發 御馬車

同 四時十分

横須賀御發車 別仕立汽車

同 五時五十分

新橋御着車

還御

電報 報 紙 達 送 緊 急

局		着		局		部		發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	信午	受前	付午	受前	月	日	第	部	<p>至急</p>	
	後	後	後	後	後	九	九	九	九	<p>村松</p>	
	分	分	分	分	分	字	字	字	字	<p>報</p>	
<p>十月二十日</p> <p>右報告ス</p> <p>鞍馬進水準準備整頓</p> <p>横濱長官</p>						<p>ホウコウ</p> <p>ビセイ</p> <p>トシ</p> <p>セリ</p> <p>ユ</p>					
<p>定指</p> <p>事記</p>						<p>注意</p> <p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 シ直ニ此ヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 其受取人へ直送シ又ハ手渡シメベカラズ</p>					

0199¹-23-A

軍務局

紙用記筆話電府守鎮賀須横

明治四十年 月 日 午 時 十二分 受 海軍省

軍艦 結果良好 三時七分無事進水

海軍省 印

横須賀

0201

東のち好(多) (好(多) 好(多))
 山中下好(多) (好(多) 好(多))
 高好(多) (好(多) 好(多))
 同好(多) (好(多) 好(多))

東のち好(多) (好(多) 好(多))
 山中下好(多) (好(多) 好(多))
 高好(多) (好(多) 好(多))
 同好(多) (好(多) 好(多))

東のち好(多) (好(多) 好(多))
 山中下好(多) (好(多) 好(多))
 高好(多) (好(多) 好(多))
 同好(多) (好(多) 好(多))

東のち好(多) (好(多) 好(多))
 山中下好(多) (好(多) 好(多))
 高好(多) (好(多) 好(多))
 同好(多) (好(多) 好(多))

(久保田納)

0203

横須賀着七〇八	横須賀五九九	品川着五〇〇	新橋着五〇〇	駅名
八〇九	六五六	六一一	六〇〇	直午 行前
八五一	七三四	六四五	六三五	大船 乗換
九一七	八〇九	七二〇	七一〇	大船 乗換
九五三	八四三	七四〇	七三〇	直 行
一〇三〇	九三二	八三七	八二六	臨時 運行
一〇四二	九三七	八四一	八三〇	臨時 運行
一一二〇	一〇〇〇	九一〇	九〇〇	大船 乗換
一二五七	一一〇六	一〇〇〇	九四七	直 行
一二三八	一一〇九	一〇一〇	一〇〇〇	臨時 運行
一三五五	一二四〇	一〇五八	一〇四八	大船 乗換
一六一九	一二五五	一一三三	一一〇〇	臨時 運行
二〇〇〇	一二四二	一二五〇	一二四〇	大船 乗換
				直 行

○十月廿一日横須賀ニ於ケル軍艦鞍馬
進水式當日(新橋着午前六時正午上時迄)
横須賀着午後四時正午後九時迄
新橋横須賀間汽車發着時刻表
○下り

新橋	赤坂	横濱	横濱	駅名
六、三九	一、一	五、四一	四、三三	直行
七、〇八	六、六八	五、四一	四、四八	大船乗換
七、三〇	七、一〇	六、六八	五、〇七	臨時直行
七、四一	七、三二	六、四二	五、三〇	直行
八、〇六	七、五七	七、二二	五、五六	大船乗換
八、三九	八、三〇	七、三九	六、三〇	直行
八、五一	八、四一	七、五七	六、四七	臨時直行
九、二四	九、一四	八、二六	六、五七	大船乗換
九、五一	九、四一	八、五二	七、五二	臨時直行
一〇、二四	一〇、一四	九、三三	八、五二	直行
一〇、三三	一〇、二三	九、五二	八、五二	臨時直行
一〇、三三	一〇、三三	一〇、四一	八、五二	直行
一〇、三六	一〇、三六	一〇、三七	九、一五	大船乗換

○上り
○臨時列車

0206

案

明治三十二年十月十日



海

軍

村橋 加多子 様へ (佐世保) 取次

一 鞍馬(利根) 最近写真 送付 1 件

一 鞍馬(利根) 最近写真 1 枚

右 送水南日 常系 新式 浅 揚 載 せり 交

其 存 来 十 日 (三十日) 船 迄 海 軍 省 新 着 之 候

送 付 方 面 五 斗 一 枚 取 次 取 次

右 依 年 照 存 候

送 下 送 水 南 面 之 候 七 斗 全 形 写 真 一 枚 七 斗

四 枚 目 的 之 候 七 斗 七 斗 七 斗 七 斗 七 斗 七 斗 七 斗

中 送 付 方 面 五 斗 一 枚 取 次 取 次 取 次

0207



案

昭和十一年十一月十一日



印

副官 横濱 横濱 横濱 横濱

鞍馬 進水 式 新聞記者招待件

来ル 鞍馬 進水 式 東京新聞社長例

依リ 招待 相成ル 事 存 其 際 別 記

者 海 軍 省 出 入 重 ン 記 者 有 一 者 同 若

社 長 上 長 招 待 相 成 ル 様 而 取 斗 相 成 度

右 照 會 ス



別記 黒潮會 欠 名 簿 通 合 計 書 名

0208

横濱第一六八號 / 五〇

明治四十年十月十三日

菅野横濱賀鎮守府副官

村上海軍省副官殿

進水式ニ新聞記者招待件

鞍馬進水式ニ貴省ニ出入スル重シク新聞

記者招待件御申越、慮今回ハ各方

面ニ於テ招待人員ヲ適減候結果東京

横濱各新聞社長ノニ招待

記者用上等別
詳規各段對入ス

海軍

0209

大阪新聞、支社及各通信社に相省を催
し付御申越、人員に對し去別に拜觀を御
送付可致候間可然御取計相成度
右回答す

終

0210

廣治

村松案

十月十一日 護付濟

明治四十年十月十一日

村上海軍省の報告

若部積造の報告

若部積造の報告

還答の件

未だの報告を呈出せしむるに多
敷來觀者、須重上、若部積造等

0211

横領第一

一六六

號

三〇

當

明治四十年十月十日

菅野横須賀鎮守府副官

村上海軍省副官殿

新編横須賀回信特別直通轉付

来ル二十日高直港に於テ軍艦鞍馬進水

式舉行し付本有長官より東京方面へ送

付し招待状約長十通にテ又招待以外

ノモノモ當日来觀スルモノ非常ニ多数ニ

去キ景況、有之候。然子ハ汽車片、
 混雜ラ来ス。勿論、義ト被存候間、
 来觀者、便宜ノ計、為メ鐵道作
 業局ハ、津文涉、上當、同午前午後
 於テ新橋横須賀間、臨時列車
 教回運轉セシメラルコトニ、津、令力
 相煩、度
 大津、依頼ス

(外)

海軍

案 甲午十月十一日 濟

利權 副官了 積受 後守府 副官 記

鞆馬進水式 存 幸 仲 水 知 成 友

一 科 觀 秀 八 袋 種 造 里 東 京 方 面 用 上 者

成 杖 送 上 者

二 案 内 送 上 者 方 面 八 昨 年 島 藝 進 水 崎 上

向 上 者

三 案 内 七 八 外 國 人 八 國 籍 氏 名 取 引 上 者

四 必 要 際 際 上 者 方 面 姓 名 取 引 上 者 送 上 者

標 記 名 取 引 上 者 取 引 上 者 送 上 者 (平 通 内 外)

本 職 へ 送 付 置 上 者 取 引 上 者

0215

五、共済會より進水當日發行スル繪葉書は出来次第
二但亦送付方を取計相成度
右照會ス

海
軍

0216

海軍

素 甲午十月十二日

利根 副皮 利根造船廠検査官宛

利根造船廠、當日貴地職工共済会より伝言の葉

出発行書由傳承改定其数、就テハ見申二但至

急申送付お申事也

又右傳葉出、當日、伝言スルコトヲ押シ在り

三手但本職宛申送付方内石中お申事、及傳葉

素 甲午十月十二日

右照会

此等伝言宛、及申送付多岐

(印)

0217

(附格)

案

甲午年十月十二日

(附)

副官ヲ横濱工廠検査受免

勅馬進水式ノ當日貴地職工共濟守ヲ発行スル

紀念券葉書ニ有クノ郵便日付印ヲ揮ラズシ

キノ三十組中職完即送付方内取付お氣

光

右照厚シス

進交代價現品差額上送金多岐矣

(附)

老但ハ新カ
記者系又
一用ニ使ス

一 繪ノ葉書 貳組

右 鶴馬道水貳ノ原取書カ
出 来上ノ此ノ自筆出カ

四ノ月二十日
横濱市磯五共海会
理事 菅田重武

海軍省 副官 菅田重武

0219



大日本軍艦隊馬場水紀念繪巻

先田英作畫伯筆

0220



念紀式水連馬鞍熊軍本日大

0221

きかは便郵



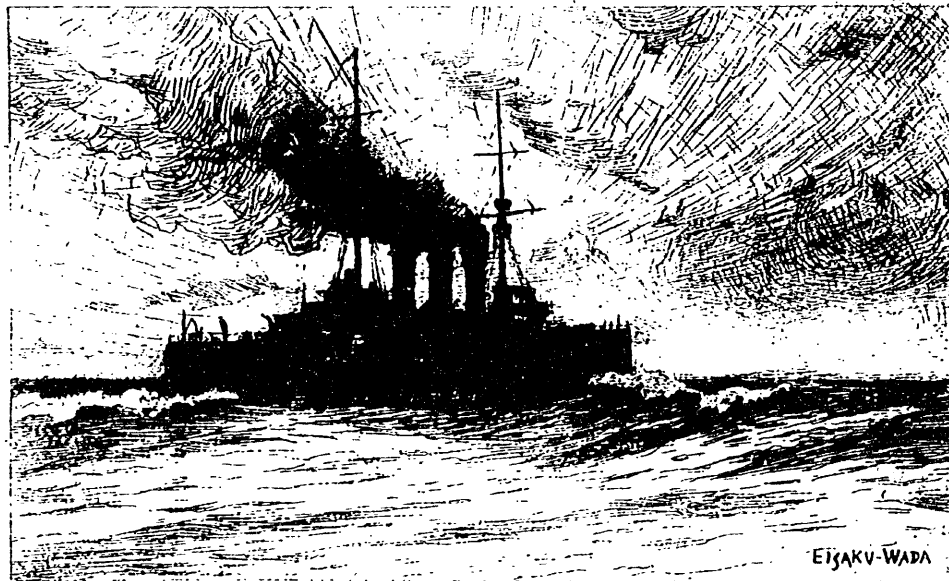
CARTE POSTALE

0228

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>



H.I.J.M.S. "KURAMA"

馬鞍艦軍本日大

0223

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>



きかは便郵

0224

CARTE POSTALE

鞍馬

(橋本 氏)

招本之殿長

先相

福田造船部長

先相

山本生右衛門

(南)

先相

鈴木造船部長

(西)

先相

黒部造船部長

先相

堀井掃部

(西)

先相

岩田造船部長

(西)

幸保技師

十年十五 若竹有紀若 幸七

利根

(佐世保)

向山之殿長

先相

山本造船部長

先相

土岐造船部長

(西)

先相

菅野造船部長

(西)

先相

大木造船部長

先相

和野造船部長

(保)

先相

金子造船部長

(西)

武井技師

村松

横領第一六六八號、四四

明治四十年十月十日

菅野横領賀鎮守府副官

村上海軍省副官殿

鞍馬進水式二付御問合件

一拜觀券

白色、青色、黄色、赤色(職工)

四種ニシテ貴者ニ配付スル種類

員数左ノ如シ

白色 百枚 青色 百枚

海軍

0227

黄色 二百枚

白青色券ハ同一効力ナリトシテ異ニ拜觀席ヲ區別スルニ止マリ即チ
青色券ハ對馬ヲ離陸後自色券ハ右程陸後ニ拜觀スルニ止マリトス

二、招待員ハ經費及食卓、都合ニ依リ薩

摩進水式ニ於テ人員約四百名ヲ減

シ千百通内外發送、善人名書ハ別ニ送

付ス

三、大使館附武官五名ノ外ハ左ノ如シ

ハンモンド。セームス。ブリックリーロイド。スチヴ

ンソン帝國大博士。ハーヴィス。ガエスト

四、款知ス

五、出来次第送付ス

